

令和7年度 第1回 伊勢市観光振興基本計画推進委員会議事録要旨

日時：令和7年7月31日（木）14：00～16：00

場所：伊勢商工会議所 4階 中ホール

出席者：【委員】板井、澤村、谷、音羽、川上、藤原、今北、前田、山本、高橋、岡田（オンライン） 〈敬称略〉

【事務局】（伊勢市）佐々木、小林、吉居、東、中村、山口、西尾
（委託業者：JTB）小島、吉口、藤田、古川

1. 挨拶(産業観光部長)

2. 委員・事務局紹介、出席者報告

委員 17 名のうち出席者 11 名で、過半数が出席していることから、「伊勢市観光振興基本計画推進委員会規則」第4条第2項の規定により、本委員会が有効に成立していることを確認。

3. 委員長・副委員長の選任

皇學館大学教授の板井委員に委員長、外宮参道発展会会長の山本委員に副委員長を推薦し、委員一同「異議なし」と賛同。

4. 議事

（1）現行計画の振り返りおよび伊勢市の観光における現状 資料①②

資料①、②に基づき、概要を事務局（JTB）より説明。

資料伊勢市における観光地経営戦略プランに基づき、伊勢市観光協会より説明。

→観光法人づくり法人（DMO）の新たな戦略プランの策定を別途進めることから、伊勢市観光振興基本計画の下位計画として、DMO 会議も連動して進めていく予定であることから、概略を説明。

DMO 会議：伊勢市観光協会、伊勢商工会議所、伊勢まちづくり株式会社、伊勢市観光消費額、経済波及効果に特化した計画策定となる。

<質疑>

○三重県下の宿泊者数はコロナ禍より増えたがインバウンドの回復率は最下位。神宮外国人参拝数は増加傾向というインバウンドの現状把握について意見を伺いたい。

（委員）

⇒回復率は人数ベースであり、三重県としてコロナ後は、観光消費額に目線を変えてきていると思われる。一概に人数だけではインバウンド需要の判断はできないとみている。

また、セントレア発着の便の回復率が他空港より低いのも影響があると考える。

(JTB)

⇒一部の宿泊施設からの情報だが伊勢志摩全体では徐々にインバウンド宿泊者数は伸びてきている。(委員)

⇒神宮参拝客へのアンケートを取ると、推奨度の高さは神宮文化への理解度によって異なるとみており、事前情報不足に対応が必要と考えている。(委員)

⇒様々な情報を精査しながら方向性を見定めていく必要がある。(委員)

(2) 策定の方針について 資料③

事務局(市)より以下の考えの説明。

・次期計画の策定に関し、これまでの日本人リピーターや新規旅行者の維持拡大に加え、第63回神宮式年遷宮諸祭・諸行事や文化の継承、インバウンド対応、新たな財源などの視点を踏まえた計画が必要。

・滞在時間の延伸や市内の観光消費額の増大、本市を訪れる観光客の増加に向けた取り組みを推進し、一層の地域の盛り上がりが必要。

・国別の来訪者数等の把握ができておらず、伊勢文化の理解意欲のあるインバウンド獲得施策の評価や検討のためにも、現状と将来像を見定めることが必要。

・「宿泊税」について新計画において使途や検証体制について位置づけることが必要。

資料③に基づき、概要を事務局(JTB)より説明。

<質疑>

○検証結果について令和6年までの反映になるのか。(委員)

⇒完成は令和7年だが、検証結果は令和6年までを反映。(JTB)

(3) 新計画策定に向けて実施する調査について 資料④

資料④に基づき、概要を事務局(JTB)より説明。

○動態調査では移動手段まで把握できるのか。(委員)

⇒移動手段までは把握はできない。

どこからどこまでという大枠の移動把握はできる。動きの傾向は把握ができる。(JTB)

○一人一人のデータはとれるのか。(委員)

⇒個人情報の関係でとることはできない。

GPSデータは点から点の移動が確認できるが、アプリ利用でGPSをONにしている方のみでサンプル数が少なく、推計には不向きなため、基地局データを使用しているNTT

のデータ（モバイル空間統計）を活用。（JTB）

⇒日本人のみの移動手段であれば伊勢市の観光客実態調査で公開されている。（市）

○個別の移動であれば IP で把握はできるかと思うが。（委員長）

⇒個人の特定となるためデータはとれるが公表はできない。（JTB）

（４）会議の進め方、今後のスケジュール 資料⑤

資料⑤に基づき、概要を事務局（JTB）より説明。

<質疑>

質疑なし

５．その他

（１）外国人宿泊者数の統計について

事務局（市）より伊勢市観光統計、＜参考＞外国人推計宿泊者数統計について説明。

（２）意見交換

○今回のインバウンド調査は、伊勢市の過去の観光客実態調査に追加という考えでよい
か。（委員）

⇒国内は今までの調査結果を精査。インバウンドについては基本的な情報がなくターゲットを設定するためにも情報を収集していく。（JTB）

⇒伊勢市の観光客実態調査は引き続き日本人を対象に継続していく。インバウンドへの切り替えは考えていない。（市）

○第 63 回神宮式年遷宮がスタートしていく中で、今回の資料は「式年遷宮」というキーワードが少ないことに違和感がある。（委員）

⇒式年遷宮に関しては重要と捉えており今後の資料で示していきたい。（市）

○現状分析の中で食文化の発信が書いてあるが、今後の姿勢を教えてください。

（委員）

⇒食文化についても外宮を中心として活性化していく必要性も感じているので、示していきたい。（市）

○定量調査ではなく聞き取り調査（定性調査）についても想定しているのか。

（委員）

⇒市内の宿泊事業者、観光事業者中心に聞き取り調査は必要と思っている。伊勢市と協

議し調査対象事業者を決めていきたい。(JTB)

○事業者のみの聞き取りか？インバウンドへの直接の聞き取りなどは行わないか。

(委員)

⇒基本的には事業者のみと考えている。(JTB)

○定量調査したうえで定性アンケートがあっても良いのでは。(委員)

⇒参考にさせていただく。現状お答えはできない。(JTB)

⇒定性調査は伊勢志摩観光コンベンション機構の資料も活用し連携していきたい。(市)

⇒資料④(P6)記載の調査項目①、②はインバウンド対象、③は次期計画策定向けた事業者向け聞き取り調査となる。(委員)

○個別のインバウンド観光客への実態調査まで広げるのかは検討課題。

遷宮を契機とした観光振興については策定方針のポイントにある通り、基本方針、基本理念、具体的方針でもベースになっていくと理解しており、素案の中でも留意していただきたい。(委員)

○持続可能な観光のため地域文化と観光文化をどう繋げていくか。新計画策定の際に観点に入れていただきたい。(委員)

⇒今回の調査は新計画について新たに必要なデータを取るという提案内容のため、次回素案でKPIを設定し直す際にご意見を取り入れていきたい。(委員)

⇒JSTS-D(日本版持続可能な観光ガイドライン)の内容も踏まえ策定に取り組んでいきたい。(JTB)

○インバウンドの消費額のデータの取り方はあるのか。(委員)

⇒来訪者調査、ビッグデータ、カード利用者などから調査が可能。

または観光案内所での調査、宿泊施設でのアンケート依頼でも可能。

県でカード決済情報、現地調査など実施しており活用できると思われる。

本事業では個別消費調査については予定していない。(JTB)

○人流パターン予測の範囲はどのようなものになるのか。(委員)

⇒抽出エリアは伊勢市内で、前後の移動は把握できる。(JTB)

⇒どこから来たかがわかれば、伊勢市に長く滞在してもらえるヒントになり、どう伊勢をアピールしたらいいか参考になる。(委員)

○インバウンドの国別統計は伊勢市にあり、今回の調査は伊勢市内をどう動いているか

がわかる。(委員)

⇒まち中をどう回遊しているかがわかれば伊勢市全体の魅力を上げる、活性化させるヒントになる。本物の良さが分かる人を呼ぶことに繋げたい。(委員)

○インバウンド増加傾向は間違いなく、肌感としてもある。人流パターンを把握し施策に繋げていけると良い。(委員)

○現状のインバウンドの対応について、スマートフォンがあれば言語の不自由は感じない。

聞き取り調査の対象を JTB の契約ある事業者のみ以外にも広げた方が、事業者が意欲を持てるような調査内容になるのではないかと。規模感により異なる可能性がある。

今のニーズにあった新しい計画策定を目指したい。

年齢別でも行動パターンが異なると思うので見直しが必要ではないか。

観光地の防災危機管理・発信の仕方も先進的に取り組んでいきたい。(委員)

○観光拠点の回遊性向上、利便性便性の向上を進めていきたい。

顧客満足度調査について、移動交通という面では比較的高いとは感じられない。調査をする中で具体的に何が求められているか把握し、ご提案いただきたい。(委員)

○現行計画について、抽象的な言葉が多いと感じており、抽象的な言葉は伝わりづらいので、推進委員会の中で検討していく必要がある。(委員)

○観光都市としてまちづくりの視点が大事ではないか。

伊勢市だけで考えると観光動機が見え難い可能性もあり、伊勢志摩周辺自治体との連携も盛り込んだ方が良いと考える。(委員)

○インバウンドはコロナ前より増えている。最低でも 2 週間程度休みを取り、旅行に来ている方が多いと感じる。高山、京都、東京、大阪、名古屋など移動している。

どのような旅行をされているか興味があり、調査結果が楽しみ。(委員)

6. 閉会

事務局(市)より伊勢市宿泊税検討の共有。

第2回推進委員会は9月12日を予定。

(以上)